

令和 5 年度
自己評価・学校関係者評価

教育目標	「心豊かにたくましい子どもを育てる」 「人を思いやる豊かな心を形に・・・」を念頭に基本的生活習慣を身につける
------	---

※自己評価は4段階評定 項目別コメントは別紙自己評価報告書に記載 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	B	B	教育目標に対する意識は例年の通り高く評価され、明るく元気な子どもの育成に積極的な姿を確認しています。一方で、元気よく挨拶ができるように指導する点では教師の努力は評価されますが、事態として決められた対象やパターンに止まる傾向があり、実効ある指導が望まれる。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	4			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	A	自己評価でも明らかなように、過去の経験や実績を重んじる為に、過去の計画に影響される傾向を指摘します。保護者の求める教育内容を捉え、自園の教育方針を踏襲し教職員の発想を膨らめた積極的な計画実現を望みます。計画の運営については、問題なく実施され評価できます。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	2			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	自己評価の中には、十分な工夫を評価しない評価もありますが、「子ども達の為」を意識した活動が見られます。また、子ども達の自主性を配慮し発達状況を加味した教育的配慮の点でやや低めの評価があり、コロナ禍を脱した現在においては、多くの体験をさせる活動の増加を期待する。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味のもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	この項目の評価は、毎年高く評価され、意識の高さが見られます。特に子ども一人一人の視診は確実に実施され、教職員の「うっかり」による事故防止にも配慮しています。更に、インフルエンザ・コロナ対策には特に注視し園児に対する指導も行われています。今後も代わらぬ安全管理を期待します。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的生活習慣の習慣化が図れた。	3			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	一人一人の子どもの話を聞き、大切に丁寧に扱おうとする努力が見られます。楽しい幼稚園生活を演出するように活動し、保護者とのコミュニケーションも特に問題を感じません。今後一層の教職員としての品格を心掛け、保護者の意見を取り入れた学級経営に努めるよう期待します。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	3			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	3			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	B	自己評価項目で最も低い評価です。この結果は、多くの研修に参加できていないことが問題と考えますが、多忙な勤務状況の中で、どの研修が必要なのかを吟味し、出来る限り参加し自らのスキルアップを心掛けるよう期待します。一方で、教職員の資質を評価したものではありません。
研修に参加するのは楽しい。	2			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	2			
今後研究したい課題やテーマがある。	2			

7. 保護者・地域との関わり

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	C	B	この評価は、近年行事の保護者参加を要望することが少なくなっていることから、多くの保護者との接触機会が不足していることに起因すると考えます。特に、地域との関わりは園の状況から、積極的には捉えていないようです。要請のある行事参加は妨げる者では無いと考え、教育活動の妨げにならない程度の対応を期待します。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	2			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関わりは十分だと思う。	3			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「ミッキー広場・ココサークル」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	3			

8. 危機管理対策

与薬する場合は、指定用紙に記載し保護者との連絡を密に適切に実施した。	2	B	B	本年度より新たに加えた評価内容で、昨今注視している内容の評価を行いました。各種マニュアルを整備し都度園内研修を実施したことにより、一定の評価が得られています。特に、与薬については、生命に影響することがあることから、慎重な対応が必要です。再度マニュアルを確認し正しい対応の定着を望みます。
SIDS（乳幼児突然死症候群）等の防止対策を行なっている。（睡眠時観察等）	3			
感染症及び食中毒の防止対策を行なっている。（マニュアルによる実施 等）	3			
不審者侵入に対応する為、手順を確認し万一の場合に備えた。	4			
虐待等の状況が見受けられないか、日々園児や保護者の様子に留意した。	3			
通園バスの運行時等運行の際、車内に子どもの見落としがないか常に確認した。	3			

9. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	特に大きな事故や問題もなく、順調な運営を評価します。しかし、当園も永年に渡る教育活動の実績から、固定化の現象やマンネリ化を意識した対応が求められます。協力体制にある教職員と相互理解を深め、高い視座に立った教育活動を期待します。また、各自信頼関係構築に努力されることを切に望みます。
梨花幼稚園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

令和 6 年 3 月 6 日

当評価委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等について、現状を踏まえ評価を行い以上の通り報告いたします。

学校法人 鷺巣学園 学校関係者評価委員会

議長 太田 光雄

